



夜明けに消えた

矢代静一

戯曲集



早川書房

矢代静一

一九二七年 東京・銀座に生まれる

一九五〇年 早稲田大学文学部卒業

著書

「絵姿女房」(書肆ユリイカ)

「矢代静一戯曲集」全三巻(白水社)

訳書

モリエール「女学者」(河出書房)

けに消えた

七年二月一〇日印刷

七年二月一五日発行

者 矢代静一

者 早川 清

所 早川書房

千代田区神田多町二ノ二

東京(三〇二番一五二(代)

東京四七七九

株式会社浩文社

株式会社明光社

一三〇〇円

三九三—九〇六—六四三

矢代静一戯曲集

夜明けに消えた

目次

パレスチナのサボテン	一幕	5
天一坊七十番——僕の使徒行録	三幕	39
夜明けに消えた		171
黒鷺団	一幕	277
驢馬	一幕	305
菜の花畑	三幕	329
解説〈奥野健男〉		415

パレスチナのサボテン

一幕

人

夫（考古学者）

（中年）

妻

（中年）

アブ・ジハド

（アラブ人）

（父）

ムナ・アル・ジハド（アラブ人）

（娘）

アラブ人

A

アラブ人

B

アラブ人

C

娘（ムナ・アル・ジハドと似た女）

声 A

声 B

陽気な中東風の音楽で幕開く。

探検隊のいでたちで妻、登場。

画家の筆になる色つきの中東の地図がスライドで写し出される。

妻　まず、私のいる場所をお知らせしましょう。中東のパレスチナです。ヨルダン河のほとりです。ヨルダ

ン国との国境にある、イスラエル国のユダの荒野の洞窟です。

星が手にとどくほどに、大きく、くっきりと輝いている春の宵です。最近の考古学界の報告によりますと、いまから二十三年前、このあたりの洞窟から、紀元前一世紀の壺がベドウィンの羊飼いによって発見されたそうです。

私の夫は考古学者で、紀元前の遺跡がこうして次々に発見されたのを知り、やもたてもたまらず、アラブの羊飼いに負けてなるものかと、せめてクムランの洞窟の近くからでも何かを発見したいと……そういうわけではるばる日本からはせ参じたというわけなのです。

夫はたいへんに世事にうとい人で、いまこの国がヨルダン国と戦争中で甚だ危険な状態にあることなどおかまいなしに、そう、昨日も、土器のカケラを大事そうに捧げもってかえってきて、さて、言うことにや、「これは、紀元三十年にイエス・キリストが使用なさったお便所の便器のカケラかも知れない」

同じく探検隊のいでたちで、土器を捧げもって夫が入ってくる。

落着かない。

8

妻 どうでした、今日は、なにかすてきなものを発掘したみたいね。そんなに興奮してるとこみると。

夫 ……（恐怖でふるえている）

妻 いやアねえ、また夢中で発掘してて、オシッコに行くのを忘れたんでしょう。

アラブ人たちのわめき散らす声が聞えてくる。

夫 急いで話そう、五分しか別れの時間は与えられていない。お前、いま、なにか言ったね。あ、オシッコならすませてきた。

アラブ人 A・B・C 入ってくる。

夫 いけない、もう、来た。御挨拶なさい。

妻 シャローム。

夫 バカ。シャロームはイスラエル語の「こんにちは」だ。アラブ語の「こんにちは」は……。アッサラー・マ・アレイクム。

妻、愛想よく、アラブ人A・B・Cにアラブ語めいた、あいまいな発音をして握手する。

妻 あなた、アラブの強いお酒、カストリ焼酎みたいなもの、お飲みになったんでしょう。お顔も体もこわばって突っぱってよ、飲まされたんでしょ、この人たちとお友達になって。五分間だなんてうまいこといつて梯子するつもりでしょう。

夫（首をせわしげに振って）テロなんだ。

妻（きよとんと）え？

夫 グリラだ。洞窟からのかえり、バラバラと数名のアラブ人が私を取囲んだ。うむを言わず、私をしばりあげ……中に、通訳とおぼしき奴がいて、そいつは英語ができる。要約すると、こうなる。よく聞け。

「我々の隊長は、全世界の心ある人々に、革命家の見事なる最期を知らせるため、いまから三十分後に、石油を浴びて……」

妻 焼身自殺！

夫 ついては、今生の別れに……つまり、この世を去るにあたって……よくおきなさいよ……隊長は、日本人とセックスしたいと、こうおっしゃったという。

妻 それで、あなた、なんと御返事したの！

夫 ヴェリ・グッド。

妻 ひどい！

夫 私はしばられてたんだよ、しかし、サンキュとは口が腐つても言わなんだ。

妻 (夫にぶつける) サンキュ!

夫 俺は恐らく、隊長とお前がなにをするのを両手両足しばられたまま、見物させられるんだろう、どうしよう。

妻 どうしようって、逃げましょう。

アラブ人A・B・Cが銃口を向ける、光る。

夫 行け、やっぱり、隊長のところへ。

妻 あなた、私、あなたの妻よ。

夫 だから困ってる。

妻 愛してくれてるんでしょう。

夫 愛なんて言葉は、夫婦の使う言葉じゃない。

妻 分りました、あなたって人が、やっと。

夫 俺は、じゃ、お前を愛してる。しかし、お前は、俺を愛していない。いいかね、愛というのはね、ハー
トの問題なんかじゃないんだ。愛とは味噌汁のことだ。俺は、朝めしは、あったかいゴハンと生卵とシジ
ミの味噌汁がのみたいといつもお前にたのんだ。そのたびに、ゴハンは体によくないとかなんとか、うま
いこといいやがって、なに、手前が肥るのがいやだからじゃねえか。そうとも、お前は私に対して愛がな
かったよ、行け。

妻 ね、よく話しあいましょうよ、愛について。

夫 奴等と話しあえ。俺と話したって、解決はつかない。

妻 (アラブ人A・B・Cに) 許しておねがい。

アラブ人A・B・C ……

夫 日本語は、分らん。

妻 I……I, am……。

夫 英語もダメだ。みんなダメだ。君には、いま僕らの置かれている絶望的状态がまるで分っちゃいない。

隊長は、どうしても、君が欲しいんだ、それだけだ。(しみじみと妻を眺める) そうか、結婚して以来初めて、分った。君は案外きれいだね。

妻 じゃ、いままでは……。

夫 いまとなっちゃん、嘘ついても始まらない。正直に言って、全然、美人だとは思っていなかった。第三者の目が、ときには必要なんだな。

アラブ人A アスラア! ビスラア! ハーラン! カワーム! (すべて、アラブ語で「早くしろ」を意味する語)

夫 約束の五分がすぎたようだ。お別れだ。

妻 そう。

夫 なんだ、おい、ちっともつらそうな顔してないじゃないか。

妻 これが私の一番つらいときの顔じゃない。何年夫婦生活つづけたと思ってるの! バカヤロ!

夫 バカヤロとはなんだ、バカヤロとは！ 夫をつかまえて、いや、うん、うん、たしかに、俺はバカヤロだよ。バカヤロどころじゃない、人でなしだ、人間の屑だ。しかし、こういうとき、どうすりゃいいんだ。そりゃ、できることなら、身代りになってやりたいよ。しかし、俺は男だからな、ザマミロ。

アラブ人 A・B、近づいてきて、妻の腕をつかむ。連れ出そうとする。

夫 いいかね、よくおきき。俺はね、君がどんな風になっても、許すよ。君は、一生、俺の女房なんだよ。早まるんじゃないぞ、舌なんか噛みきるんじゃない。待ってるぜ、いつまでも、お前さんの帰ってくるの。
(大声でどなる) バカヤロ！ 失礼、誤解しないでくれ、俺自身に向って言ってるんだ。

妻は、アラブ人 A・B・C に連れ去られる。

舞台奥でアラブ人たちのわめき散らす声々。

アラブ人 A が、アラブの例のターバンに布を垂らしたかぶりものを、捧げ持って入ってくる。あとから銃を構えたアラブ人 B・C。

アラブ人 A アスラア！（かぶれと仕草で伝える）

夫 ……

アラブ人 A ビスラア！

やがて、夫、ターパンかぶる。

アラブ人たちは夫の体をくまなく触れて、始めてにつこりする。腰を前後左右にふる。お前もやってみると仕草。

夫、従う。

夫（ふと、気づく）すると、セックスのお相手をするのは、この私？

アラブ人A おお、セックス。（うなづく）

夫 セックスだけは、万国共通語らしい。ちよっとお尋ねするが、隊長は……（小声になる）デブのおばさんであるかとおききしたのであるが、そういった、ぐい質問を口にすべきかどうかは慎重でなければならぬのだ。

アラブ人C おお、デブ。（腕を曲げて、力こぶをつくる）

夫 サンキュ……、サア……。

ラッパが鳴り響く。ボンゴ（太鼓）が鳴り渡る。

アラブ人A・B・C、うやうやしく、身をかがめる。夫、従う。

夫 ま、度胸をきめりや、たいしたことはない。ちよっと、ものの見かた、考え方を変えりやいいんだ。要

するに、俺がアラブの女と遊ぶだけのことでしょかないか。そうだ、そしてだ、運のいいことには、こいつは浮気にはならない。俺は被害者だ。悪い病気をうつされないよう、注意すべきはそれのみだ。

アブ・ジハドが入ってくる。夫と視線合う。アブ・ジハドにたりとする。夫、がく然となる。

夫 隊長は……（小声になる）同性愛であるかとお聞きしたのであるが、そういったたぐいの質問を口にすべきかどうかは慎重でなければならぬのだ。

アブ・ジハド お早うのこと、日本語のこと安心のことね。

アブ・ジハドは常に陽気である。のことを乱発する癖がある。

アブ・ジハド セックスすることの前に、おききたいのこと、一つある。

夫 はア？

アブ・ジハド 「姦淫は罪なりや？」

夫 罪なり！

アブ・ジハド ノオ、日本人、頭わるい。「姦淫は、罪ならず」

夫 お言葉を返すようで、なんですが、私には、妻がおります。もし、私が妻以外の女、いや妻以外の人間